

授業科目 義肢装具自立支援概論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	義肢
東江 由起夫、大沼 雅之 他		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		◎	○		
【概要・一般目標：G10】					
<p>義肢装具ならびに福祉用具等を通して障害者と高齢者のQOLをサポートする専門職の役割を理解するために、義肢装具と福祉用具の概要について学ぶ。またこれらを体系的に理解するために、その定義や種類、分類について学ぶ。さらに義肢装具ならびに福祉機器・用具を取り巻く業界や歴史、現状と展望についても理解を深める。</p>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本科目の位置づけ、一般目標、行動目標、科目評価について理解している。</li> <li>2. 学科が目指す専門職像について説明できる。</li> <li>3. 義肢装具ならびに福祉用具に関する定義と分類、用語について説明できる。</li> <li>4. 義肢装具ならびに福祉用具を必要とする対象者について説明できる。</li> <li>5. 義肢装具士法について理解している。</li> <li>6. 関連業界、団体について知っている。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス・学科ビジョン・学科が目指す専門職像			1,2	講義
2	福祉用具の用語・定義・分類			1-4	講義
3	義肢を必要とする対象者			3,4	講義
4	義肢装具士法、義肢装具士の業務と役割、義肢装具の歴史、関連団体			5,6	講義：外部講師
5	義肢の用語・定義・分類 1			3,4	講義
6	義肢の用語・定義・分類 2			3,4	講義
7	義肢の用語・定義・分類 3			3,4	講義
8	装具を必要とする対象者			3,4	講義
9	装具の用語・定義・分類 1			3,4	講義
10	装具の用語・定義・分類 2			3,4	講義
11	装具の用語・定義・分類 3			3,4	講義
12	福祉用具の業界とその歴史、関わる専門職の業務と役割			5,6	講義（外部講師）
13	靴の業界の歴史とその歴史、関わる「専門職の業務と役割			5,6	講義（外部講師）
14	車いす・シーティングの業界とその歴史、関わる専門職の業務と役割			5,6	講義（外部講師）
15	まとめ（評価）			1-6	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		義肢装具学 第4版	編集：川村 次郎 ほか	医学書院	2009・7,000円＋税・ISBN978-4-260-00510-4
参考書					
その他の資料		資料：パワーポイント配布			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
最終筆記試験 70%、小テスト 20%、レポート 10%		原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-3点、遅刻1回につき-1点、遅刻2回につき-3点を、最終評価から減点する。			